

保護者面接スキルアップ

～ 「國分・コーヒーカップ方式」と「黒沢・保護者面接 ステップ」の照合 ～

1. コーヒーカップ方式と保護者面接 ステップの照合

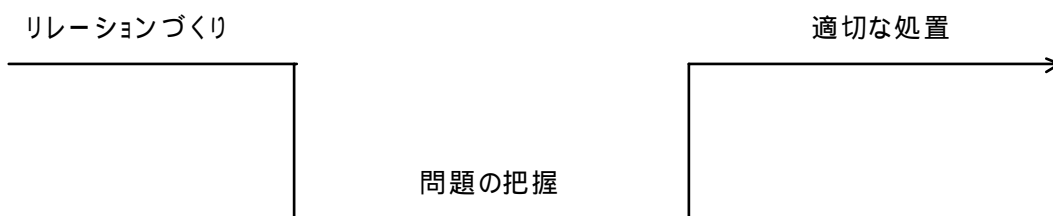
< コーヒーカップ方式 >

受容
支持
繰り返し
明確化
質問

リレーションづくりと
問題把握の基本技法

* 6つの問題解決法

- (ア)リファーマ
- (イ)ケースワーク
- (ウ)スーパービジョン
- (エ)コンサルテーション
- (オ)具申
- (カ)狭義のカウンセリング



< 保護者面接 ステップ >

- ・合わせる
- ・何を問題と感じていますか？
- ・どうなればいいですか？

- ・ 家族が問題ではありません
- ・ お子さんの「売り」は何ですか
- ・ うまくいっていることは何ですか
- ・ 介入（具体的な課題）

2. 黒沢の保護者面接 ステップとは？

・ 黒沢幸子先生（目白大学助教授）考案による保護者面接を有効に進めるための7つのステップである。ソリューション・フォーカスト・アプローチがベースになっている。

ステップ ；合わせる

・ 保護者の外見，表情，言葉づかい，話し方のテンポやトーン，雰囲気，考え方の枠組みに「合わせる」こと。ジョイニング，ペーシング，マッチングとも言われる。

ステップ ；問題認識の確認「何を問題とお感じですか？」

- ・ 「どんな問題があるか」ではなく、「何を問題と感じているのか」を尋ねる。
- ・ こちらが問題をつくってはいけない。例；元気がない娘に対応する母のケース。「どうしたの？ 顔色が悪いけど。友だちのことが何か気になっているんじゃないの？」 娘はただ風邪気味で体調が悪かったのだが，友だちのことを話題にされ，本当に気になりだしてしまう。本人が「問題」と感じていなかったものを，改めて「問題」として意識させて

しまった例。

ステップ ；ゴールイメージの設定「どうなればいいですか？」

- ・ 解決像に焦点付け，未来に方向付ける。

ステップ ；保護者へのエンパワメント「ご家族は原因ではありません」

- ・ どんな問題であれ，原因はものの見方により様々である。原因と結果が入れ替わる場合もある。保護者の傷つきを軽減する言葉。

ステップ ；リソース探し「お子さんの売りは何ですか？」

- ・ 子どもの持っているリソース（資源，宝，いいところ）を保護者と共に発見していく。リソースという材料を集めて，次の「料理」にかかる。

ステップ ；例外探し「うまくいっていることは何ですか？」

- ・ すでにうまくいっていること，これからも続いてほしいことを確認していく。
- ・ 「問題モード」から「解決モード」への転換

ステップ ；介入（具体的な行動指針）

- ・ 必要に応じて課題を出す。
- ・ 「すでにうまくいっていることをたくさん見つけてきてください」などの観察課題など。

3．スキルアップワーク

(1)「リソース探し」

- ・ ペアになる。「あなたは何を持っていますか？」，「あなたのできることは何ですか？」と聞き続ける。2分で役割を交代して行う。終了後，ペアシェアリング。

(2)「リソースへのリフレーミング」

- ・ 学級の子どもを思い浮かべ，多少なりとも日常問題に感じていることを挙げ，それぞれに対し，「 くんの が問題」と書く。

- ・ 「 が問題」という言葉の の部分を「 能力がある」として，置き換える。

例：「木村さんの無口が問題」 「木村さんは無口能力がある」

- ・ 「 能力」は くんのリソース。「問題」の周辺に「能力」がある。「 能力」から くんのリソースを導こう！！

例：「木村さんのリソースは，聞き上手，観察眼，配慮，不言実行」

(3)面接ロールプレイ

- ・ 3人組になる。コーヒーカップの流れを意識し，ステップも適宜取り入れながら，ロールプレイを行う。

- ・ 保護者役は「事例」を創作して話す。観察者は教師（カウンセラー）役に対して，事後フィードバックを行う。

- ・ 一事例につき15分間のロールプレイ。（ロール12分，フィードバック3分）

< 参考・引用文献 >

- ・ カウンセリングの技法，國分康孝，誠信書房，1979
- ・ スクール・カウンセリング・ワークブック，黒沢幸子，金子書房，2002